

# 鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2010.5

vol.50

## 10年ぶりのNHO鹿児島医療センターに感動

この度、4月1日付けで、都城病院から鹿児島医療センターに配置換えになりました中重です。平成13年3月に、8年3ヶ月お世話になった当時の国立病院九州循環器病センターを巣立ったのは、ついこの前のように、10年ぶりに戻ってみると、様々なことが変化しており、その時々の方々が病院を大きく成長させてこられた歴史を強く感じ感動しております。

約11年前、当時の桜美院長先生が、10号線沿いの石垣の上にある20数本のクヌギの木(?)を、伸びすぎていると幹の途中からばっさり伐採されました。当時私は、折角伸びた木を何故?と思いましたが、その木が今、見事に丁度良い高さで枝が伸び、新緑の葉が付き、安定したバランスの良い木々になっていることもまた感動しております。10年先を考えて物事を決めていくということを教示されていた院長先生を思い出しながら、自分はこの木のように成長してきたのかなあ〜と振り返っております。

当院から昇任していった日南病院では1年間でしたが、重症心身障害児(者)の医療、次の熊本医療センターでは3年間、超急性期医療における健全経営とクリティカルパスを学び、次の現・長崎川棚医療センターでは3年間、神経難病の医療と電子カルテとヒューマンネット、国立病院機構では1番目に病院機能評価バージョン5-1発合格の経験、そして前任地の都城病院は2年間、幸運にも自分の卒業した看護学校の病院での経験。そこでは多くの後輩と共に、新病棟への移転後の看護管理と地域がん診療連携拠点病院の役割と機能を経験させていただきました。

それぞれの施設の特徴と取り組みにおいて、看護管理の難しさと大切さを実感して参りました。様々な壁に遭遇しましたが、周囲の方々の支えにより今

があると感謝しております。

私が一番大切にしていることは、「管理の答えは現場にある」ということです。現場



のスタッフが生き生きと、納得して働ける看護管理を目指したい。そして、スタッフ一人一人の力を大切に、「木も見て森も見る管理」をして参りたいと思っております。

まだまだ現場に充分行っておりませんが、病棟・外来・手術室の看護業務を確認し、職場の皆さんが困らないように、楽しく働き、患者様も職員も満足する看護管理をすすめて参りたいと思います。

当院は、循環器疾患とがん医療・脳卒中の3つの柱で最先端の医療を展開しております。チーム医療・医療連携という言葉だけでなく、特に全ての管理職者が健全経営と病院の運営について真剣に検討している病院だと感じております。そして、各診療科の先生方が本当によく働かれ、患者様を第一にしている病院です。看護部門においても、専門性を生かし質の高い看護を提供することが最大の使命だと認識しております。そのためには、看護職員の教育研修をさらに充実させ、専門領域のエキスパートナースの能力開発の支援をしていきたいと思っております。今後、時代の流れとともに、国立病院機構の体制もどんどん変化することが予測されますが、常にエンプロイアビリティを高めて役割を果たしたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

(看護部長 中重敬子)

## 看護学校入学式

平成22年4月9日金曜日に独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校にて第19回入学式が挙行されました。早朝より小雨そぼ降る天気でしたが、写真撮影の時に日差しが見られ入学生の強運を感じました。桜の残花が入学式にふさわしく、新入生と新入職の私の緊張を和らげる風景になっていました。

午前8時過ぎから入学生が登校し、在校生が入学式場となる体育館に案内していました。そのときに緊張した面持ちの入学生に在校生が優しく声を掛けながら案内する光景を目にしたのです。入学生に笑みがこぼれていました。この時に看護の原点を在校生が実践していると感じました。入学生にできるケアは「この学校に来て良かった」「この学校で人の役に立てる人間になれるよう学習したい」と感じてもらえること、これを在校生は瞬時の判断で実践していました。この想いが脈々と繋がっていくのだと感動から始まった1日でした。

その後入学式のリハーサル、入学式、写真撮影、オリエンテーションと進行しました。入学式リハーサルは進行役から看護の専門職として心構えを伝えられ、入学式は厳粛な気持ちになり、新入生オリエンテーションは現実味を帯びてくる看護学生としての生活に希望と不安を感じたと思います。

私が国立南九州中央病院附属看護学校に入学した昭和60年代は校歌がなく、入学式に在校生が入学生に贈った歌が「たんぽぽ」でした。『1番 雪の下  
のふるさとの夜 冷たい風と土の中で青い空を夢に見ながら野原に咲いた花だから  
どんな花よりたんぽぽの花をあなたにおくりましょう  
どんな花よりたんぽぽの花をあなたにおくりましょう』2番と3番は割愛します。

とても健気な歌だと思われませんか。影や日向になり人を支援し続ける看護職のような歌です。この歌を聞いた時の感動は今でも忘れられません。つらいことが多かった看護学生生活でしたが、この歌はいつでも歌われましたので、この歌詞に希望を見出していたのでしょうか。その後看護学校が統合された平成6年に現在の校歌が作られたと聞いています。校歌をご紹介します。『1番 花匂うみなみの国に集いきし若き友垣その篤き思いを重ねああ我らいのちを歌う  
2番 樟薫るみなみの国に集いきし若き友垣その高き思いを掲げああ我らいのちを歌う  
3番 星注ぐみなみの国に集いきし若き友垣 その深き思いを掲げああ我らいのちを歌う  
4番 桜島燃ゆるみなみの空に若き子何を捧げん その熱き思いを胸に永遠の愛の祈りを』 若人らの高尚な姿を映した歌詞です。看護は人を理解するために様々な学習をします。そのためには校歌のような意思と、「たんぽぽ」のような地道さが必要です。これからの看護学生生活は苦難と希望が待ち受けています。これらの日々は人に寄り添う想いを学習する道程です。入学生の瞳に「校歌とたんぽぽ」の意思を感じ、臨床の方々とともに大切に育てたいと思います。ご支援を宜しくお願い致します。

鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校 教員  
西元智子(国立病院南九州中央病院附属看護学校39期生)。



# 新任紹介



泌尿器科 恒吉 研吾  
つねよし けんご

平成22年4月1日から赴任させて頂いております泌尿器科の恒吉と申します。平成12年に半年程、勤務したことがあるのですが広くきれいになった病院に驚いております。透析や泌尿器癌領域等で少しでもお役に立てましたら幸いです。今後とも宜しく願い申し上げます。



消化器内科 柗元 洋紀  
くきもと ひろき

平成22年4月1日より勤務させて頂くこととなりました。オーダリングなど病院のシステムに早く慣れ、円滑な診療を行えるように努力していきたいと考えております。当科では、カプセル内視鏡や小腸内視鏡など、特殊な検査などもあり、まだまだ勉強しなければならぬことがたくさんあります。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導の程よろしく願いたします。



第2循環器科 慶児 知利  
けいご ともとし

H22年4月から勤務させて頂くこととなりました。約4年半前に在職していた時にはなかったオーダリングに慣れずに、苦労の日々が続いております。診療でも御迷惑をおかけしております。少しでも早く慣れて、お役に立てればと思っております。宜しく願い申し上げます。



産婦人科 築詰 友美  
やなづめ ゆみ

平成22年4月より勤務させて頂いております。1か月ほど経つのですがオーダリングシステムになかなか慣れず苦労しています。早く病院のシステムに慣れ、スムーズに診療ができるようにしていきたいと思っております。この病院では、婦人科の患者様が多く、手術を含め学ぶことが多くあります。不慣れな分、皆様にご迷惑をおかけすることもあると思っております。ご指導・ご鞭撻よろしく願いたします。



泌尿器科 松下 良介  
まつした りょうすけ

平成22年4月1日より勤務させて頂くこととなりました、泌尿器科の松下です。3月までは同じ国立病院機構の指宿病院で働いていました。平成18年に医療センターで働いていましたが、その時代は様々な点で進化しており、システムに慣れるまで時間がかかりそうです。できるだけ早く慣れて、スムーズな診療ができるよう努力して行きたいと思っております。不慣れな分、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、ご指導・ご鞭撻を宜しく願いたします。



第1循環器科 小瀬戸一平  
こせど いっぺい

当院には以前に2年7か月間勤務しておりましたが、その後鹿屋医療センター、倉敷中央病院を経て平成22年4月より再度、第一循環器科で勤務させて頂くこととなりました。少しでも地域の患者様のためになれるよう頑張っていこうと思っております。皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、今後とも宜しく願い申し上げます。



第1循環器科 中尾 竜馬  
なかお りゅうま

平成22年4月より勤務させて頂くこととなりました。地域のために患者様のために循環器科診療に取り組んでいきたいと思っております。よろしく願致します。



脳血管内科 中島 隆宏  
なかしま たかひろ

平成21年4月1日より勤務させて頂いております。5年ぶりの鹿児島、5年ぶりの医療センターに帰ってくることができ、とても嬉しく思っております。皆様のご協力の元、脳卒中診療に貢献できるよう努力していく所存です。ご指導のほど、よろしく願い申し上げます。

# 診療ひとくちメモ

## 『HPVワクチン』

子宮癌の罹患率は一貫して低下してきましたが、1990年頃よりやや上昇傾向を示しています。これは若年者の子宮頸癌罹患率が上昇していることに起因します。全女性の部位別罹患率をみますと子宮頸癌は下位にランクされますが、20代～30代の女性に限りすると圧倒的に一位の罹患率です。特に1990年頃より急激に増えています。

子宮頸癌の原因として1980年頃からHPV(Human Papilloma Virus)との関連性が研究されてきました。HPVは性行為を介して感染しますが、性交経験者の約8～9割が一度はこのウイルスに感染するといわれています。そのほとんどで1年以内にウイルスは排除されるものの、約1割の人で持続感染が成立します。この中のほんの一部が子宮頸部上皮内病変から浸潤癌へ移行すると思われる。HPVには100種類以上の型があり、16、18、31、52など約15種類が発癌性の高い型として知られています。国によって若干差はあるものの日本では約60%で16型もしくは18型のHPVが検出され、特に若年層では両者を合わせると80%にのぼります。HPV

はその感染様式より自然抗体を作りにくく、感染を繰り返すことが知られています。そのためワクチンの開発が待たれていましたがこのたび日本でも使用できるようになりました。HPV16型と18型に対するワクチンで、日本で発症する子宮頸癌の約6割(若年者では約8割)を予防できるとされています。対象は10歳以上の女性で、初交以前に接種するのが最も効果的とされていますが、45歳までの女性であればその予防効果は異なるものの有効性は確認されています。子宮頸癌はこのワクチン接種と細胞診にてほぼ100%治療が可能になります。特に若年層にとっては子宮を温存し妊産能を保つことを治療の目的にすることが可能になります。

HPVワクチン接種を公的資金で対象者全員に行っている国もありますが、日本では今のところ国の補助はなく自治体単位で取り扱いが異なるようです。基本的に自由診療になりますが、子宮頸癌撲滅のため積極的に普及させなければならぬワクチンだと思います。当院でも接種を行っていますのでお心当たりがありましたらご相談下さい。

## 6月看護研修のご案内

主催 鹿児島医療センター看護部教育委員会

### がんエキスパートナース講座 がん患者・家族への 教育支援アプローチ

- 日 時：H22年6月16日(水)  
13時～17時
- 場 所：研修棟 3階
- 講 師：緩和ケア認定看護師  
神崎美保子
- 対象者：医療関係者

### 脳卒中エキスパートナース講座 感染予防について ～NSTの立場から～

- 日 時：H22年6月22日(火)  
13時～17時
- 場 所：研修棟 3階
- 講 師：栄養管理室長 橋本有吏  
リハ科医長 鶴川俊洋  
言語療法士 田場 要
- 対象者：医療関係者

### 集合教育

### 感染予防について

- 日 時：H22年6月24日(木)  
18時～19時
- 場 所：大会議室
- 講 師：感染管理認定看護師  
吉満桂子
- 対象者：医療関係者

参加ご希望の方は、準備の都合上各コース3日前までに企画課(松尾)までご連絡ください。

電話 099-223-1151 (内線 7303) FAX 099-226-9246



新年度に入り一月が経ち、新任職員も職場に慣れてきた頃です。今月号では新任の看護部長及び医師の紹介をさせて頂きました。また、附属の看護学校でも新しい学生を迎えましたので、そちらにつきましても記事の掲載となりました。今年のゴールデンウィークはかなり天候に恵まれた1週間となりました。皆様は何をされて過ごされましたでしょうか。

## 編集後記

私は霧島への登山と大隅半島一周のドライブを楽しみました。今までは行きたくてもなかなか行けなかったのですが、今回ゆっくりとまわることができ、改めて鹿児島島の自然の豊かさを感じることができた旅となりました。

(担当:井上)

■お問い合わせ先

独立行政法人  
国立病院機構

**鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246

http://www.kagomc.jp

脳卒中ホットライン ▶ 090(3327)5765

【地域医療連携室】 濱田・今泉・井上・西・森・中島・吉留・木ノ脇・水元・酒井

直接電話 ▶ 099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用 ▶ 0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

